

市川市立南行徳小学校学校だより



南行通信

令和6年12月3日
校長 中村 由美子



～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～

2024年の終わりに

早いもので2024年も1週間余りとなりました。朝、校門に立っていると(正門と南門を順に立っています)「口から白い息が出るよ」「寒いから手袋をしてきた」「車のガラスが凍ってたよ」など、挨拶とともに季節が変わったことを話してくれるたり、「先生、手が冷たいでしょ」と言って持っているカイロで私の手を温めてくれたりする子もいました。朝のほんの短い時間ですが、時の流れの速さと子供たちの成長を実感する時間です。

2学期は、「ドレミファ集会」「校外学習」「町探検」「幼稚園や保育園、地域の方との交流」「外部講師による学習」など多くの行事や学習活動がありました。そんな中で、学習や運動、人間関係等、子供たちはこれらを経験することで大きく成長しました。その成長は一人一人がそれぞれの小さな困難や試練を乗り越えてきたからのものです。例えば、現在2年生が「かけ算九九」を頑張っています。練習したかけ算九九を、休み時間に学校中の教職員と保護者の皆様、みなみっ子サポーターの皆様聞いてもらい、かけ算を確実に習得していれば合格がもらえます。しかし、九九をすべて覚えることは並大抵のことではありません。「忍耐強く」「粘り強く」頑張ることで身につけていくものです。間違えても、完全に覚えていなくても、子供たちは「誰かに聞いてもらおう」と一生懸命です。その気持ちを困難を乗り越えるエネルギーにしながらかけ算九九習得というゴールへ向けて頑張れるよう応援しています。

このように、学力や運動能力、人間関係を構築する能力を身に着けるには、「忍耐力(我慢する力)」や「(粘り強く)頑張る力」といった非認知的能力も一緒に身に付けさせることが重要だと考えております。困難や試練を前に「いやだ」「できない」「無理」などの短い言葉で結論付けてしまい、その後のかかわりを遮断してしまうと、「もういい」とあきらめたり、「他者が悪い」と自分の行動を振り返らなかつたりなど成長を自ら断ってしまうことにつながりかねません。

そこで、学校では子供たちに「試行錯誤」させながら小さな失敗を経験させ成長へとつなげていけるよう、様々な教育活動を組んでいます。前出の「かけ算九九」も「どうしたら全部覚えられるかな」と自分なりに工夫し、間違えてもできなくても何度でも再挑戦できる場を用意し、困難を乗り越える経験をさせています。12月20日の朝日新聞に「学校の意義は、安心して失敗し、人とぶつかり、折り合わない人とも共生することを学べること」とありました。まさしく、その通りだと考えます。「学校はまちがえるところだ」と安心して失敗経験ができるよう、そしてその失敗が成功への第一歩となるような教育活動としたいと考えてきた2学期でした。

保護者の皆様、地域の皆様のおかげで、2学期の最終日を迎えることができました。学校評価アンケートでは、ご多用のところをご回答いただきありがとうございました。3学期には、その結果と考察をお伝えします。

1月6日(月)に元気な子供たちの笑顔に会えることを楽しみにしております。よいお年をお迎えください。

千葉県警察生活安全部少年課長より

「闇バイト」はアルバイトではなく、紛れもない犯罪行為です。闇バイトに応募してしまうと、強盗の実行犯や特殊詐欺の受け子など、犯罪組織の「使い捨て」として利用され、たった一度でも手を染めれば必ず警察に検挙されます。少しでも怪しいと思う募集情報には一切応募しないでください。保護者の皆様もお子様に対し、闇バイトについての指導をお願いいたします。

この度、千葉県警察少年課において、俳優の神尾楓珠さんによる注意喚起動画を制作しました。ぜひご家族やご友人と一緒にご覧いただき、神尾さんのメッセージを「闇バイト」に対する心構えとしていただけたらと願っております。

○神尾楓珠さんによる闇バイト注意喚起動画

<https://www.youtube.com/watch?v=3P3VLGISJBA> (千葉県警察公式YouTube)

